

(別添4)

【明日香村】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

学習指導要領及び中央教育審議会答申「令和の日本型学校教育」の構築のため個別最適な学びと、協働的な学びの実現」が示されています。

教科等の特質に応じ、地域・学校や児童生徒の実情を踏まえながら、授業の中で「個別最適な学び」の成果を「協働的な学び」に生かし、更にその成果を「個別最適な学び」に還元するなど、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげていくことことを目指します。本村では、それを踏まえ、ICTを活用し、情報活用能力や理論的思考を身につけ、デジタル社会においても、よりよく生きることが出来る人材育成に努めていきます。

2. GIGA 第1期の総括

これまで順次 ICT 環境の整備を進め、令和2年度には410台のタブレット端末を1人1台整備し、テレタッチ（電子黒板）を配備しました。合わせて小中学校に無線環境設備を整備しました。

令和4年度からは ICT 支援員を各校週1回程度配置し、教職員や児童生徒の学習活動のサポートを行ってきました。

ICT 環境の整備を進め、1人1台端末を授業と家庭学習の連動にまで生かしてきました。教職員では、端末の操作方法等の習熟度に個人差は若干ありますが、ICT 支援員による教職員研修も実施されており、サポートされているところです。今後も、課題の評価や見届けにおける ICT 機器の有効活用や、情報モラルや ICT 機器の活用に関する教職員研修をこれまで以上に実施し、教職員の個人差により授業での活用差がでないようにしていきます。

3. 1人1台端末の利活用方策

1人1台タブレット端末を持ち帰ることで、場所や時間にとらわれない学びの実現ができます。不登校の児童生徒や欠席者においても、希望があれば、オンラインでの授業配信が実施を行っていきます。教育相談においても継続して希望者にはオンラインで実施していきます。

本村では、小学1年生から夏休みにもタブレット端末を持ち帰り、研究や課題に取り組んでいます。意見交流や課題提出についても、今後もタブレット端末を用いて実施していきます。

また、1人1台端末の利活用にあたり、下記の指標及び目標を達成できるよう取り組みます。

以上の取り組みを実施するためには、1人1台端末が必要不可欠です。そのため端末の整備及び更新により、1人1台端末環境を引き続き維持していきます。

【1人1台端末の利活用指標及び目標】

項目	評価の指標	目標値（目標年度）
1人1台端末の積極的活用	毎年度ICT研修を受講する教員の率	100%（R6）
	ICT支援員の配置	2校に1人（現状維持）
	1人1台端末を週3回以上活用する学校の率	100%（R6）
	デジタル教科書を実践的に活用している学校の率	100%（R10）
個別最適・協働的な学びの充実	児童生徒が自分で調べる場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	小：100%（R6） 中：100%（R6）
	児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	小：100%（R8） 中：100%（R8）
	教職員と児童生徒がやりとりする場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	小：100%（R8） 中：100%（R8）
	児童生徒同士やりとりする場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	小：100%（R8） 中：100%（R8）
	児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	小：100%（R8） 中：100%（R8）
学びの保障	希望する不登校児童への授業配信を実施している学校の率	100%（R8）
	希望する児童生徒への1人1台端末を活用した教育相談を実施している学校の率	100%（R8）
	外国人児童生徒に対する学校活動等の支援に1人1台端末を活用している学校の率	100%（R8）
	障がいのある児童生徒や病気療養児等、特別な支援を要する児童生徒の実態等に応じて、ICTを活用した支援を実施している学校の率	100%（R8）